

ボール運動（足で操作するゴール型）の授業提案

6年生ボール運動ゴール型（パックサッカー）〈略案〉

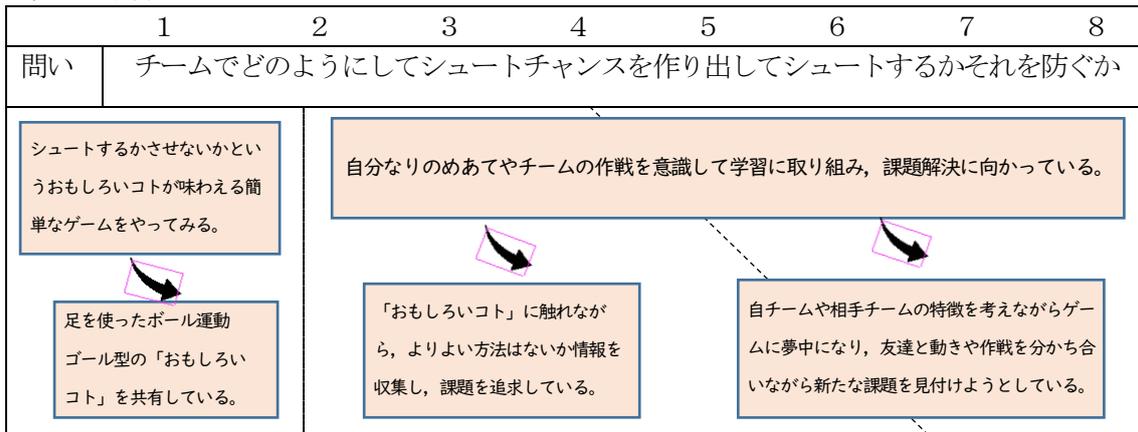
1, 題材について

ボール運動の本質的なおもしろさは、「攻防すること」であり、「シュートするかさせないか」というおもしろいコトを共有し、夢中になって活動できるようにしていく。

しかし、球体のボールを用いたサッカーでは、ボール操作が難しかったり、弾んでくるボールが怖かったりして、意欲的に参加することが難しい。そこで、球体のボールではなくアイスホッケーで使用している「パック」のような形状のものを扱ってみたい。そうすることによって、自分が思ったように操作することが易しくなり、チームでイメージした動きを具現化しやすく、「これならやってみよう」と思えるのではないだろうか。

今回は、「チームでどのようにシュートチャンスを作り出してシュートするか、それを防ぐか。」を問いとして学習を展開し、豊かな学びへとつながるようにしていきたい。

2, 学習計画



3, ねらい

「シュートするかさせないか」というボール運動のおもしろさを味わいながら活動することができる。また、チームで「どのようにして」という思考を働かせながら、動きを共有したり連動したりしながらゲームを楽しむことができる。

4, 授業の環境

用具 パック（重さ） ゴールの幅	場 コートの大きさ ゴールの仕方	ルール 人数は？ 時間は？ キーパーは？ タッチラインからでたら？
---------------------------------------	---------------------------------------	---

5, 課題が解決できずに困っている子どもへの教師の関わり方

- ボールに全然さわれない
 - すぐに相手にとられてしまいそうであせってしまう
 - 上手くパスが繋がらずシュートチャンスが作れない
 - どこに動いたらいいのかわからない
- など